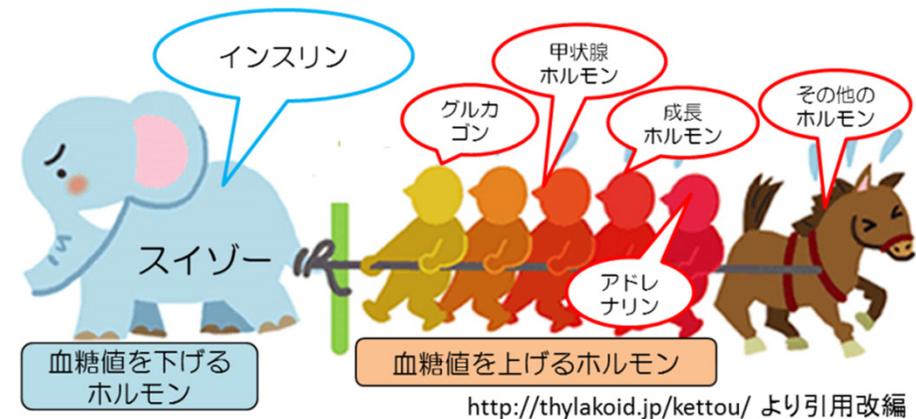


血糖値調整の神秘

私たちのからだの中には、血糖値を上げるホルモンと、下げるホルモンがあり、それぞれ微妙にバランスをとりあって、ちょうど良い血糖値を保つように調整されています。

さて、人類の歴史には諸説ありますが、約700万年前からといわれており、長い期間「狩猟」「採集」「漁労」によって食べ物を手に入ってきました。その時代は、猟ができなかつたり失敗すると、飢餓との闘いになります。そのため、神様は人類を飢餓から守るため、血糖値を上げるホルモンをたくさん揃えてバックアップ体制を万全にしました。一方、血糖値を下げなければならない事態はまったく想定しておらず、血糖値を下げるホルモンはインスリン一つだけでいいだろうとしたのです。ところが、今では人類史上、経験のないほどたくさんの食事（糖分）を摂ることが当たり前になりました。ですから、今ではインスリンが血糖値の調整に孤軍奮闘しているといった状態です。



人類創世の神話がいろいろとある中、インスリンが人類を救う時代が来るとは、神様も予想できなかったのでしょうか。